政治分析７

政治の定義の再確認：　諸価値の権威的配分。

有力少数の支配？→ 陰謀史観

誰が支配するのか？

* 権力構造
  + 支配するエリートとエリート主義
  + 一元的支配― All authority and control can be traced back to one source.
  + 評判法― 誰が支配者なのかを多くの人間に聞いていき、遡って一つの一元的支配の主体を突き止める方法（実証的？？ Not really）
* コミュニティー権力構造論争
  + 多くのコミュニティーがある中で、一元的な支配者はいなく、 different social spheres に応じて権力者が違う
* ロバートダールの批判
  + 争点ごとに異なる影響力構造
  + 多元主義が権力構造の実際

影響力を実証する

* ロバートダールの定義「さもなければBがなさなかったことをBになさしめる度合いに応じてAはBに影響力を持つ。
* 行動を通して観察可能
* 影響力資源と影響力の違い
* 影響力は関係的である
* ダールは明示的影響力のみを見ている

黙示的影響力　（ダールへの批判）

* 経済界の特権的地位？
  + 金の卵を産むガチョウ−税収の最大な供給源である経済界の利害を政治は無視できない。忖度が起きる。明示的な影響力関係ではなくても影響力は作用している。
  + 構造的影響力
* 目に見えない力？黙示的影響力
* 非決定の問題
* 個人の認識枠組み自体への影響

方法論的問題

* 黙示的影響力を捉える（明示的に観測する）方法は？
* 観察可能な含意
  + もしAの支配が貫徹していれば観察できるはずの現象を確認
* これがなければ無限後退問題へ
* なんでも説明できる理論
  + フロイトの精神分析– 包摂的で反証可能性がない…?
* 反証可能性と科学　→ フロイトなどの理論では予測ができない
  + 黙示的影響力の理論も反証可能性を持っていない。

鉄の三角同盟と権力構造

* 鉄の三角同盟と権力構造の味方
  + **政官業**は**政官財**ではない。
  + 政官業は多元的、エリート主義ではない。
  + 非流動的（固定的）。
* → では政治的変化はどこからくる？
* 政治的企業家のちょっと異なる損得勘定（コンサマトリーな価値観）
* マスメディアの役割

マスメディアの影響力

* 影響力認知：第４権力論
* マスメディアの登場と権力効果論
* 限定効果論
  + エリー調査
    - メディアが流す情報は、人民に直接流れるのではなく、聞いた人間が他の人間に解説して伝える等を通して間接的に及ぶ。（**コミュニケーションの二段階の流れ仮説**）
    - メディアの効果は狭い？
      * 選挙への効果も測定された結果、メディアによる意見改変効果は少ないと結論づけられた

マスメディアの影響力　再考

* テレビの登場と強力効果論の復活
* 議題設定　– media outlets cannot convey the whole story unreservedly → they must limit their argument and narrative to a certain aspect or narrowe portion of the bigger picture = the construction of an agenda.
* プライミング – 政治の判断基準提供
* フレーミング

日本におけるメディアのバイアス

* テレビ・ラジオと放送法「政治的公平性」
* 新聞における「客観報道」
* メディア効果の測定の困難さ
  + 新聞等の読者はその購読するメディアの思想的な影響を受けるのか？→ 時間的先行性が不明確。朝日を読む人がリベラルになるのか、リベラルが朝日を選んで読むのか。

マスメディアと多元的民主主義

* メディアの偏向？
* 政治的中立性とバランス論
* 弱者の声を増幅する傾向にある
  + → 多元的民主主義との親和性が高い
* 視聴率上げるためにも少数意見を汲みあげる

マス・メディアは政治の流動化をもたらす

* 少数の優位への対抗　『初めて出会う政治学』６章

インターネットの影響

* 日本においてはまだ従来のメディアの方が信頼性が高い
* WEBサイト、ブログ、SNSの影響「反響室」
  + さらなる多元化・流動化？
  + 選択的接触と政治関心の低下？
  + 選択的接触と分極化？

マスメディアが少数の優位に対立するメカニズム

* 少数の優位

↓

* メディアによって、争点・参加者の拡大、新たな議題（メディアにおいては弱者意見が増幅されやすい）

↓

* メディアの関心を集める。（　**影響力資源を持たない人たち**　）・（　**政治的企業家**　）　が台頭し、メディアを通して、国民の関心や支持を集めうる
* 予想できる帰結として、少数の優位が存在する政策領域で、政治的企業家たちなどが（　選挙や政策形成過程で　）**勝利しやすくなる**。

↓

* 少数の優位が揺らぎうる。